

ホクシン工業（株）環境行動計画

平成20年5月23日

取組方針

ホクシン工業株式会社は、地域の交通安全と快適な生活環境づくりに貢献することを目指しています。工事事業部では交通安全施設工事の設計施工、環境事業部は下水道施設のメンテナンスをレンタル事業部では工事現場の保安用品のレンタル・販売を行っています。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中でのエネルギーの消費削減
- ② 工事事業部門、事務部門における廃棄物の排出削減
- ③ 事業活動中での、紙使用量の節減・水使用量の節水

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成20年5月23日

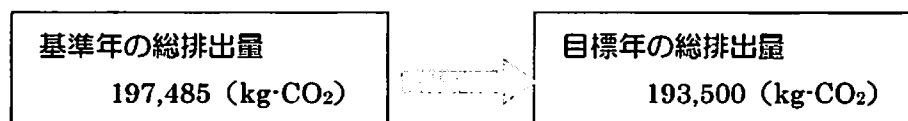
ホクシン工業株式会社

代表取締役社長 岡田 稔

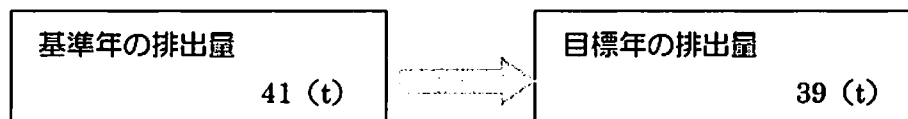
3 環境負荷の低減目標

21年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。（数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも19年です。）

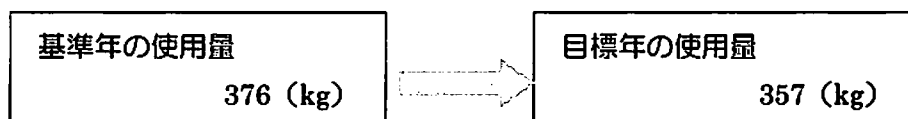
【目標1】 二酸化炭素の総排出量を2%削減する



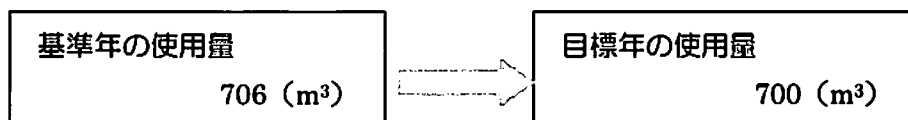
【目標2】 産業廃棄物の排出量を5%削減する



【目標3】 コピー用紙の使用量を5%削減する



【目標4】 水使用量を1%削減する



【目標5】 危険物・洗浄剤の安全管理を徹底する

4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

（工事事業部門での活動）

- ・ 現場で稼働する工事車両・機械のアイドリングストップおよび省燃費の促進
- ・ 工事車両、重機の適正整備の励行
- ・ 作業内容に適應した車輛・機械の選定を心がける
- ・ 自動車を運転するときはエコドライブに努める
- ・ 工事車両の運転週報の記録により Km 当たりの燃費把握及び削減に努める
- ・ 作業効率の改善により残業時間を少なくする

（事務・営業部門での取組）

- ・ 事務室の空調温度を適正（冷房時 28 度、暖房時 22 度）に設定する
- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ・ 社用車の効率的な使用（運転経路、相乗り）を徹底する
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
- ・ 車の空調温度を適正温度に設定する

【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

(産業廃棄物)

- ・ 廃棄物管理票(マニフェスト)の管理を徹底する
- ・ 廃棄物の分別を再検討し、産廃専用のボックスを置き整理する
- ・ 防護柵、標識のスクラップ製品は金属くずとして産廃専用ボックスとは別に処分する
- ・ 軍手は使用限度を定め、無駄に廃棄しない

(一般廃棄物)

- ・ ごみの分別を徹底し、3R(リサイクル・リユース・リデュース)に努める
- ・ 排出する廃棄物は45リットルのゴミ袋の数量で、記録する
- ・ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する
- ・ 製品をできるだけ長期間使用する

【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ 書類、資料の電子データ化を進める

【取組4】 水使用量の削減

- ・ 配管からの漏水を定期的に点検する
- ・ 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する
- ・ 洗車用のホースに手元コックを取り付ける
- ・ 水道蛇口に節水こまを設置する

【取組5】 危険物・洗浄剤の安全管理

- ・ 危険物・洗浄剤・使用済み洗浄剤は、決められた保管場所に保管する
- ・ 危険物・洗浄剤・使用済み洗浄剤の容器は、確実に蓋をする
- ・ 危険物・洗浄剤を取り扱う社員に対して定期的に安全教育を行う

【取組6】 その他の取組

- ・ 毎月、全社員による現場総点検を行い、5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)を徹底する
- ・ 製品、材料、工具は、決められた場所に返却する
- ・ 社員による技術提案制度で、環境への取組についても提案を募集する

5 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、目標ごとに年に2回定期的に取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。